

令和2年度 第3回いいだ未来デザイン会議 記録

日時 令和2年11月10日（火）午後4時～6時
場所 飯田市役所C311～313会議室

進行 下平委員長

1 開 会

欠席者：小林委員、山本委員、木下委員、竹内委員

オンライン参加：石神委員、中田委員

2 あいさつ 佐藤市長

10月18日の飯田市長選挙を経て10月28日から新しい市長として就任しました佐藤健です。よろしくをお願いします。

未来デザイン会議については、計画策定時の副市長時代にも大変お世話になりましたが、本日は次の中期4年間の方向性についてご審議をいただきたいと思います。私は選挙期間中に「2050年飯田は日本一住みたいまちになる」という30年後を見据えた公約を掲げてきましたが、大きな方向性はいいだ未来デザイン2028と公約に大きな違いはないと考えています。公約は未来に向かって困りごとをひとつひとつ解決し、市民がりたいまちの姿を実現していく、その先に暮らし豊かなまちがあるという考えです。いいだ未来デザインもリニア時代に向かって暮らし豊かな町の創っていくという想いから策定され、そのための4年毎の計画、1年毎の戦略を見直しながら、一步一步未来にむかって歩いていく計画です。

市民の皆さんに30年後に日本一住みたいまちを目指しましょうという話をした際、ご高齢の方にも、自分達の子どもや孫のために未来のバトンタッチをしたい声も多く聞いてきました。そういう想いは世代を通じて共有できるものと感じています。

委員の皆様には、暮らし豊かなまちを目指すために引き続き、お力添えをよろしく申し上げます。

3 協 議

(1) いいだ未来デザイン2028の中期計画の基本的方向について 田中企画課長説明

(2) 中期計画に関する意見交換（分散会）

中期計画基本的方向の案について、班ごとの意見交換

（「いいだ未来デザイン2028」中期計画基本的方向（案）についての意見交換の内容を参照）

(3) 各分散会の意見共有とまとめ（全体会）

【石神委員】

「小さいことは偉大」という言葉があるが、20地区の個性を打ち出しながらまちづくりができるということは素晴らしいこと。また、環境も基本は一人一人の意識であり、なるべく身近なところで小さく小さく循環させる取組と当事者意識が重要だと思う。

コロナ禍を経て人の意識が大きく変化してきている。コミュニティーのあり方、社会システムが変わってきて、どんどん移住ができる時代が来ている。仕事を持って人が移住することも増えることが想定され、地域が人をいかに惹きつけるかが重要になってくる。環境、教育、食、文化など人間の基礎的なところに魅力を感じて人は移動する。人をつなぐ技術や条件は以前からあったが、それが普及してきたのが今であり、いいだ未来デザインを実行する中でいろんな利点が生まれてくると思う。

【佐藤市長】

本日は熱心にご議論いただきありがとうございます。いいだ未来デザインの構造は4年間の中期目標の下に、毎年の実行計画として戦略があり、これから、令和3年度予算編成を

進めていくところです。本日いただいたご意見を参考に、具体的にどう取り組み、予算を組み立てるかを庁内での検討を進めていきますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

4 閉会

配布資料

- ・次第（裏面、名簿）
- ・資料No.1 いいだ未来デザイン2028中期計画の基本的方向（案）
- ・資料No.2 いいだ未来デザイン2028中期計画 基本目標（案）について
※各分散会毎の協議用資料No.2-1～13
- ・参考資料1 いいだ未来デザイン2028（要旨）
- ・参考資料2 未来デザイン会議（第1回、第2回）分散会論点見出し整理表